

総務文教常任委員会行政視察報告

総務文教常任委員会は、五月十三日から十五日にかけて福島県二本松市及び岩手県久慈市の先進的な取り組みを教訓化するために、行政視察を行ってきました。

二本松市では、統合した東和小学校建設事業の取り組みを視察しました。旧東和町は、少子化が進む中、教育環境を整備するために七小学校の統合が方向付けられ、検討委員会を平成八年に発足させ、長期間、統合に向けて調査研究を行い、様々な問題や課題を検討し、学校関係者の理解と住民の協力のもとに解決してきました。平成二十二年に既存の七校が統合し、東和小学校が新設されました。東和小学校は、標高四百mの高台に新設され、自然に囲まれた環境の中で児童たちは伸び伸び運動に勉強に励んでいました。学校の教室は、ワンフロアの広い空間の中、腰壁に木羽目板貼りでぬくもりを感じました。また、新エネルギー活用

で太陽熱利用型方式による最新技術の機器や器具を使用し、体にやさしく柔らかな空調・照明設備が整備され、エコスクールの環境により児童たちは、楽しく元気に動き回っていました。本市も自然エネルギーを活用したエコスクール化の推進が必要であると思います。久慈市では、地域コミュニティ振興事業の取り組みを視察しました。活力ある地域づくりと協働のまちづくりを市民が自主的に推進していくことを学んできました。



統合された東和小学校（二本松市）

本常任委員会は、五月七日から九日までの日程で、福岡県大牟田市の「地域認知症ケアコミュニティ推進事業の概要について」及び大分県中津市の「男性の子育て参加推進の取り組み・パパママスクールの概要について」等、行政視察を行いました。大牟田市は、日本の近代化に貢献した三池炭鉱とともに栄え、平成九年に閉山された後、人口も大幅に減少し、高齢化率が三二%を超えています。

今後、認知症高齢者が増加することは明らかであり、いかに早期発見し、効果的な予防に結びつけ、介護する家族の負担をより軽減することが、大きな課題であります。認知症の人とその家族を地域全体で支え、安心して豊かに暮らし続けることができるよう、まちづくりを推進しています。開催されるようになり、多世代交流を図ることができました。また、認知症の普及啓発の一環として「小中学校の認知症絵本教室」も行っています。子どもたちの明るい声がひびきあう中津市は、母子保健事業における父親の育児参加の推進に取り組んでいます。なお、企業誘致の成果により、合計特殊出生率が一・八七となっております。いずれも、実り多い研修ができました。



子育て支援の取り組みを学ぶ（中津市）